

# 理学部特任教授講演会



## 御子柴 克彦 博士

東邦大学 理学部  
生物分子科学科 特任教授  
上海科技大学  
免疫化学研究所 教授

### 講演内容

## 細胞内シグナル制御分子 $IP_3$ 受容体の 発見から新しい概念へ

カルシウムイオン ( $Ca^{2+}$ ) は細胞の働きに重要であるが、その制御機構は不明な点が多かった。我々は小脳ニュータンの解析から  $IP_3$  receptor ( $IP_3R$ ) を発見しその構造を決定し、小胞体に局在する  $Ca^{2+}$  チャンネルであることを見いだした。発生分化のみならず運動制御、学習に関わる。 $IP_3R$  は巨大な細胞質ドメインを持ち多くの機能分子と結合しシグナルハブとして働く新しい概念の多様な機能を持つ  $Ca^{2+}$  チャンネル分子であった。最近の知見も含めて紹介したい。

**2019年10月9日 (水) 14:40~15:50**  
**理学部 III 号館 305 教室**

連絡先 理学部生物分子科学科  
古田寿昭 (furuta@biomol.sci.toho-u.ac.jp)